

平成29年3月2日

企業会計基準委員会 御中

宝印刷グループ
株式会社ディスクロージャー&IR総合研究所

実務対応報告公開草案第51号
**「債券の利回りがマイナスとなる場合の退職給付債務等の計算における割引率に関する当面の取扱い
(案)」に対する意見**

平成29年1月27日に公表されました公開草案につきまして、当研究所において検討し、以下のとおり意見を提出いたしますので、今後の審議においてご検討いただきたく、お願い申し上げます。

敬具

記

質問1

本公開草案では、平成29年3月31日に終了する事業年度から平成30年3月30日に終了する事業年度について、利回りの下限としてゼロを利用する方法とマイナスの利回りをそのまま利用する方法のいずれも認めることを、当面の取扱いとして提案しています。この提案に同意しますか。同意しない場合は、その理由をご記載ください。

同意します。

質問2

その他、本公開草案に関して、ご意見があればご記載ください。

1. 退職給付債務等の計算において、割引率の基礎とする安全性の高い債券の支払見込期間における利回りが期末においてマイナスとなる場合、利回りの下限としてゼロを利用する方法とマイナスの利回りをそのまま利用する方法のいずれの方法を採用しているかについて、退職給付に関する注記において開示することを求めるべきと考えます。
2. 適用時期が1年限りと限定されているものの、当該取扱いが延長されることも考えられる。利回りの下限としてゼロを利用する方法とマイナスの利回りをそのまま利用する方法について、一旦採用した方法は、正当な理由なく変更することはできないとの理解でよいか。

以上